

+++++  
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第49号 2018年11月7日発行  
+++++

台風で葉がボロボロになったハヤトウリは再生して、たくさん開花し始めました。サトイモ（赤目大吉、三河丸芋、石川早生）とダイズ（借金なし）は有機無農薬で良好な生育で、畑を見た方々からお褒めにあずかっています。エンドウマメを播き、ニンニクを植えました。サトイモの牛肉と煮っころがし、チーズ焼きなどでも美味しいです。雑穀見本園の雑穀種子も来年用に大方収穫しました。

日本村塾ゼミで、自然のなかでの暮らしや生業について皆様と一緒にもっと学び、山村に暮らす楽しみ、人々の幸せや誇りについて語り合いたいです。都市民はもっと自然に親しまないと、人間でないものAIの下僕になってしまいます。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。友の会会員になっていただければうれしいです。また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に広く転送伝達していただけるとありがたいです。

## ○報告

1. 「憲法に環境原則を追加する提案」についての研究会：認定 NPO 法人環境文明 21（憲法部会）で、10月9日（火）18時、JR大崎駅近く、東京都南部労政会館第一会議室、シンポジウムの準備について話し合いました。現在の提案書（憲法前文と第三章環境を加筆）は次のホームページで読めます。

<http://www.kanbun.org/2017/170824teigen/170824teigen.html>

2. 環境文明 21 シンポジウム 憲法に環境(持続性)原則の導入を!! ～改憲論議は“9条問題”だけではない!

日時：11月6日(火)、場所：衆議院第一議員会館 第一会議室、主催：NPO 法人環境文明 21

参加者は約30名、川田龍平議員が参加してくださり、食料安全保障に関しては強い関心を持ってくださり、熱心に聴講いただいたうえ、直接、ご挨拶も頂きました。

議論要約は次の通りです。

加藤三郎さんの憲法に環境原則を加える提案、木俣が家族・地域・国レベルの食料安全保障の必要性について、立法事実データと雑穀標本を示して加藤提案に追加した。川上晁生さんはリニア新幹線の問題点について景観保全の重要性を踏まえて話題提供し、石野耕也さんが憲法に環境規則を加えている諸国の状況を話題提供した。その後のパネルディスカッションでは参加者の意見も含めて次のことが議論された。環境課題は危機感ではなく、立法事実に基づく論理として憲法レベルの重要課題である。若者が自己に閉じこもるのは初等教育の欠陥で改善すべきだ。大学の授業は聞くばかりで、学生たちは意見を言わず、議論にならない。原子力発電の段階的廃止に6割以上の国民が賛成していても、その方向に進まないのは、法学者も含めてこのくにの村社会は連携がないからだ。環境課題は暗いものが多いので、若者に魅力のある方向を示してほしい。自治会などでも地球環境問題が話題になっている。地域に戻って生活が成り立つようにすべきで、環境問題は身近な課題だ。若者は経済状況が悪く、政治に関わる話題は避けている。国民・市民による憲法の議論が広がってほしい。

木俣発表資料は次で読めます。日本国憲法の3原則は「国民主権（民主主義）、基本的人権（自由・平等）、平和（友愛）であり、これらを補強し、未来社会を楽しく、美しくするためには新たに環境原則条項を加えて、食料安全保障をめぐる環境保全を憲法条項で確実にする必要があります。これは戦争を回避して飢餓を避けるもう一つの平和を維持する方法です。

<http://www.milletimplic.net/collegefores/envcontmk.pdf>

3. 来訪者：安孫子昭二さんほか2名、嵯峨創平先生ほか4名が10月中にお越しになりました。

4. 寄贈：庄村敏さんから岐阜古民家の鉈ほか1点、安田喜憲さんから新刊『文明の精神』古今書院を頂きました。

## ○予定

1. 開館作業予定日：2018年11月11（日）、16（金）、22（木）、30（金）、12月7日（金）の予定です。16日には中山誠二さんが中央アジアの標本を見に来てくださいます。

植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示解説をしています。ご利用くださるとともに、作業にご協力いただきたく、よろしくお願ひします。ご利用や協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、上記以外でも日程調整します。場所は小菅村井狩集落バス停近く、細川邸の前、道の駅臨時駐車場の坂を下ってすぐです。

2. 食農教育座談会 3: 次回は晩秋に開催する予定です。

3. 植物と人々の博物館 学大探検部収集の民具類も整理・収蔵・展示しています。森とむらの図書室では日本の食文化・民俗関係を整理しています。順次資料のリストはホームページで公開しますので、ご利用ください。

○東京学芸大学環境教育研究センターのさく葉標本は東京腊葉会と武井尚コレクションを中心に整理してあります。今後、現首都大学東京牧野標本館に移管する予定のようです。植物と人々の博物館の標本は東京女子大学、京都大学、東京学芸大学のユーラシアにおける海外学術調査で収集したイネ科栽培植物を中心にしたものです。これも今後5年計画で整理して、散逸させないために、牧野標本館に移管するのが良いかと思ひます。

4. 雑穀街道とFAO世界農業遺産 FAO世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。2年後にはぜひ申請できるように、賛同が広がるようにどうぞ援助くださいますようお願いひします。FAO世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いひします。下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」(小菅村井狩)で閲覧していただけます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』序章で雑穀の栽培史、第4章で、雑穀街道地域の調査研究の成果(1974~2017)をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millet/sn/jnmpilvil.html>

5. 日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。都市農業や家族農業の図書文献は森とむらの図書室(小菅および藤野分室)で閲覧できます。関連の講演資料や研究報告はホームページで読めます。

6. 民族植物学第12号は編集途中で、2019年1月発行予定です。主な内容は、先真文明への覚書5、書評2編、活動記録2編ほかに論文2編です。次の第13号からは電子出版のみにする予定ですが、ご寄稿を歓迎します。バックナンバーは第7号~第11号まで少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第11号まで、すべての記事pdfは植物と人々の博物館ホームページ(ミュージアムグッズ)で読めます。メールマガジンもすべて記録してあります。会誌ナマステは自然文化誌研究会のホームページで読めます。

7. 『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、南アジアについて、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。現在はスリランカとバングラデシュの雑穀を研究会に参加し、文献を読んで、学んでいます。『日本雑穀のむら』は第3章関東地方の雑穀文化複合、補論2主食の起源を近日中に公開します。『環境学習原論』および『第四紀植物』、“Essence of Ethobotany”はまだ非公開ですが、書き進めています。これらは、下記の雑穀・民族植物学関係個人ホームページで読めます。引用して下さる場合は、順次必要に応じて改訂していきますので、「木俣(2018未定稿)」としてくださるようお願いひします。

\*\*\*\*\*

自然文化誌研究会(東京都日野市): 代表 中込卓男、副代表 中込貴芳(東京)、小川泰彦(埼玉)

ミュージアム研究会／トランジション小菅(山梨県小菅村): 代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館(山梨県小菅村): 館長 木下善晴

日本村塾生・研究員: 木俣美樹男(東京)、西村俊(石川)、藤盛礼恵(千葉)ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長: 黒澤友彦(山梨県小菅村) [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式HP: 自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行: 木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

雑穀・民族植物学関係の個人HP: 生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

写真



左はモリンガの花、右は雑穀見本園の保存用雑穀種子（アワ、シコクビエ、陸稲、ヒエ、キビ、モロコシ、ハトムギは未収穫）